

ト、其 他

(一) ム、持時、時、三、介、限、ト、ス、ル、コト  
(ハ) 抜擢者ハ、孫、人、其、初、辱、困、体、並、住、所、氏、名、服、業、年、今、ラ、届、出、タル、言、限、リ、申、ス  
(ニ) 密、言、反、次、許、等、ハ、一、切、之、ヲ、派、サ、シ、ル、コト

以上ノ外、紛ヲ警察官、指揮ニ従フコト、治安維持上必要ト認ムル時ハ、何時ニテモ制限禁止又ハ解散ヲ命ズル場合アルコト

麥 愛 道 筋

御披露ヲ南ノ内安堂青町ヲ末ノ谷町筋ヲ南行シ天王寺西町筋ヲ西ノ切レ逢阪口ヨリ天正寺公園グラウンドニ到ルコト

以上

(1) 日本労働者の歌

本間 雅晴 作詞

- 一、あゝ濁流に棹さして  
正義の道を進みゆく  
破邪の鐵槌一筋に  
われ等は日本の労働者
  - 二、鐵腕をどりて風を切り  
剛、あけて意氣昂く  
白閃燈々火花散る  
われ等は日本の労働者
  - 三、三千年の皇道に  
血潮は四肢に溢れたり  
培はれたる紅の  
われ等は日本の労働者
  - 四、林と藪と煙突の  
産業振ひ國興る  
煤煙空に陽炎へば  
われ等は日本の労働者
  - 五、社稷祭えてわれ祭え  
進退共に國と行く  
山河亡びてわれ空し  
われ等は日本の労働者
  - 六、アジアの盟主神州の  
赤き心に結ばれし  
興敗の鍵握りつゝ  
われ等は日本の労働者
- (2) 愛國勤勞祭行進歌
- 一、亞細亞の東榮ある  
祖國に誓ひ奮ひ立つ  
日出づる國の勤勞者  
今日ぞ我等が祭の日
  - 二、事日に非なり内外の  
産業亂れ國瘦せて  
國難こゝに極まりて  
今興亡の岐路に立つ
  - 三、視よや生産報國の  
正義日本の構成は  
熱血の意氣鐵の意志  
吾等が手にて打建てん
  - 四、春爛熳の花の下  
若き男子の鐵腕  
大和心に燃え盛る  
これぞ祖國の柱なり
  - 五、さか高らかに歌へかし  
皇道維新の曉の鐘  
團結の陣破邪の劍  
輝く今日の勤勞祭